

チーム佐賀 オール佐賀で、医療と連携して取り組む「佐賀方式」

未来を見据えて

【OPEN-AIR 佐賀】

◆広く澄みわたる青空のもと、佐賀の豊かな自然や魅力を楽しむスタイルを発信



SAGAナイトテラス チャレンジ

◆全国のモデルにもなった歩道を活用したテラス席で飲食をする社会実験



◆中止となった高校総体や夏の甲子園の代わりとなる大会を、全国で最初に開催決定

SAGA2020 SSP杯



医療界も県民の皆様と共にコロナ禍克服を目指します。佐賀県医師会会長 松永 啓介



慈しみの県 佐賀には「エール」が似合う。

佐賀県知事 山口 祥義



日々、医療現場をはじめ様々な現場で頑張られている関係者の皆様に心から感謝申し上げます。県民の皆様にも、それぞれ苦しい状況の中、ご協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。

佐賀県では、感染が広がりを見せた昨年春から、「先手先手」を合言葉に、行政と医療の連携による「プロジェクトM」を展開し、陽性者発生時には、丹念な調査を行い、幅広く「念のため検査」を行うなど、徹底した封じ込め対策を行ってきました。

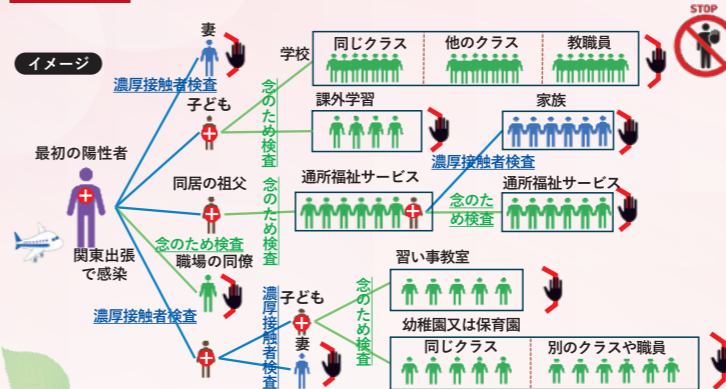
今後、さらなる感染拡大を抑えていくためにも、心の傷を負わないためにも、差別や誹謗中傷は将来にわたり無くしていかなくてはなりません。

また、こういう困難な時だからこそ人と人との心の距離を縮めて、子どもたちの未来への布石を打っていくことも大切です。今後も予断を許さない状況が続きますが、「慈しみの県 佐賀」として、チーム佐賀、オール佐賀でこの難局を乗り越えていきましょう。

1 陽性者を確認後、1件1件徹底的に封じ込め!

県内1例目から、濃厚接触者に加え幅広く「念のため検査」を行い、陽性者を徹底的に追って早い段階での封じ込めを図っています。また、疫学調査チームが速やかに全事例を分析・検証し、その後の対策に反映しています。

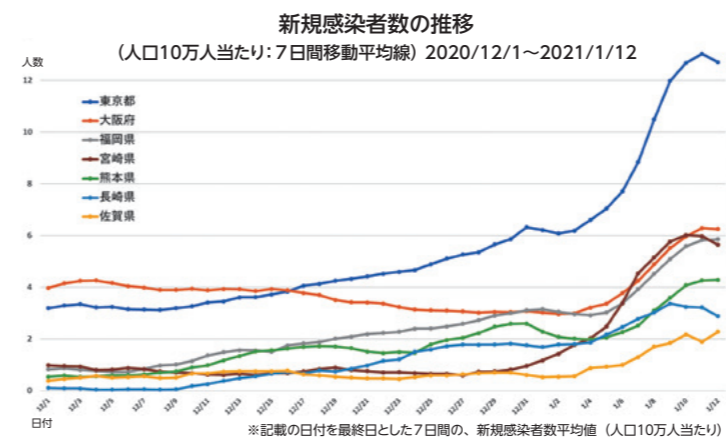
佐賀方式 封じ込めのための幅広い「念のため検査」!



一つになって、乗り越えよう。

佐賀大学医学部附属病院 高度救命救急センター長 阪本 雄一郎氏

佐賀大学医学部国際医療学講座 臨床感染症学分野 教授 青木 洋介氏

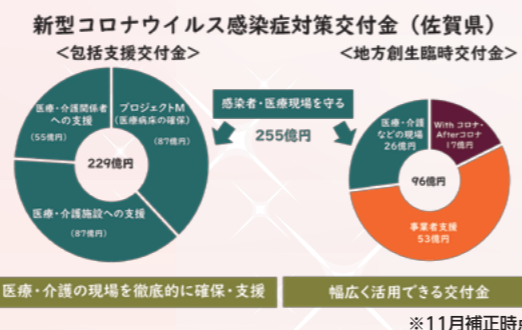


九州各県の感染者数 (1月13日時点)

福岡県	12,008人	佐賀県	672人	長崎県	1,118人	熊本県	2,655人
大分県	869人	宮崎県	1,378人	鹿児島県	1,301人	沖縄県	6,037人

3 命を守る最前線(医療・介護の現場)を守る

最前線で闘っていただいている医療従事者、医療機関を支えるために、コロナ関連交付金の80%を医療・介護の現場へ活用しています。

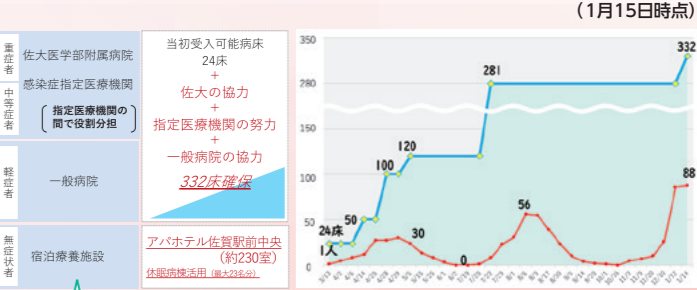


4 命を守りながら、経済(日々の暮らし)を守る

コロナ禍の中、感染拡大を抑えながら経済も守っていくために、佐賀独自の施策を様々な分野へ幅広く展開し、県全体で支え合っていくための取組を行っています。

2 陽性者の症状で入院・療養先を振り分け、医療現場の負担を減らす

昨年4月から県と医療関係者が連携して取り組む「プロジェクトM」を始動し、先手先手で入院病床や宿泊療養施設を確保するとともに、感染したすべての方を対象に、症状に応じた入院や療養の調整を丁寧に行っています。



病院と宿泊療養施設(ホテル)で役割分担

PROJECT M

大切な命を守るため、先手先手で病床を確保し、症状に応じた入院先を確保

コロナ患者専用ベッドの利用状況 ※最大確保占有率 (1月6日時点)

【東京都】	【大阪府】	【福岡県】	【佐賀県】
病床全体	78.1%	64.4%	51.6%
うち重症用	87.4%	64.7%	20.0%
自宅療養者	5,091人	1,510人	880人
自宅療養者	0人	0人	0人

※これまでのところ、九州で唯一自宅療養者0 (1月13日時点)

すべては対策本部会議で

県の情報をご確認ください

- ◆55回を超える対策本部会議は全て公開
- ◆Webでも動画を即日配信
- ◆コロナボードで感染状況を公開



佐賀県HP



文化芸術の新たな表現方法や活動展開を支援